

収穫の秋

今年はミシガンでも暑い日が続きました。10月になっても半袖で過ごせるくらいの日があり、場所によってはおよそ華氏80度（約27℃）を超えるとともに、ミシガン湖の水温も記録的に高くなっていたとの報道がありました。そうかと思えば、その10月下旬には一部でみぞれが降るなど、激しい寒暖の差とともに早くも冬が迫ってきていることを感じています。

そんな中でも、10月31日のハロウィンは大切な日。この日に向けて、街中至る所にカボチャ、カボチャ、そしてカボチャ。お化けの飾りつけはとてもあり、市役所の窓口だって蜘蛛の巣で覆われてしまうほどです。スーパーにはカボチャとともに仮装用のコスチュームやお菓子もたくさん並んでいました。



カボチャとともに、この季節、店頭でよくみかけるのはリンゴです。ミシガンの小ぶりのリンゴは少し酸っぱいようですが、Fuji Appleもあります。ミシガン州のリンゴの年間生産量は1ビリオン パウンド（およそ45万トン）前後と、全米第3位で、今年はさらに増えそうとか。ミシガン州にとってリンゴは最も大切な収穫物となっていて、州全体でのリンゴの農地は35,500 エーカー（およそ144 km²）で、825世帯の農家が生産しているそうです。



秋に入ると、「アップルサイダー」と呼ばれるリンゴを搾った飲み物が農場でも売られています。「サイダー」という名から炭酸入りなのかと思いましたが、いわゆる100%リンゴ果汁のジュース。アイスだけでなくホットでも楽しめるそうで、シナモンなどを加えたり、ドーナツと一緒に食べると美味しいとのこと。ミシガンのリンゴをぜひ一度お試しください！